

## 臨床研究に関する公開情報

2023年9月11日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

### <概要>

研究課題名	院内心停止蘇生後患者における体温管理療法の有用性の検討
対 象	2017年4月から2023年8月までの期間で兵庫県立尼崎総合医療センター院内にて心肺停止に至り蘇生された患者さん。
研究期間	承認日から2024年3月までを予定しています。
研究目的	心停止蘇生後に昏睡状態が続く患者さんに対して、体温管理療法は、神経学的予後の改善につながるため推奨されています。しかし、最近が高体温を回避すれば低体温での管理療法は予後を改善しないという報告もあり、さらに入院中の心停止後の患者さんを対象として有効性を検討した報告は少ないため、臨床現場で実施することが困難な場合が多くあります。そこで、院内での心停止蘇生後の患者さんに低体温での体温管理療法を行うと死亡率や神経学的予後に違いが出るのかを検証することとしました。
方 法	診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、臨床所見、血液検査所見、治療内容などがあります。研究結果は学会および論文にて公表します。
個人情報	臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。
問い合わせ先	兵庫県立尼崎総合医療センター 集中治療科 〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77 TEL：06-6480-7000 FAX：06-6480-7001 研究責任者：川本優、三住拓誉